

家庭科学習指導案

呉市立昭和西小学校
主幹教諭 加茂川尚子

- 1 日時 平成22年11月24日(水) 第6校時
- 2 学年 第5学年2組(男子16名 女子13名 計29名)
- 3 場所 家庭科室
- 4 題材名 「快適な住まい方を考えよう ー冬の快適生活プロジェクトー」
- 5 題材について

- 本題材は、小学校学習指導要領家庭科の内容「C快適な衣服と住まい」を受けて設定したものである。本題材にかかわって、学習指導要領には次のように示されている。

内容

C(2) 快適な住まい方について、次の事項を指導する。

イ 季節の変化に合わせた生活の大切さが分かり、快適な住まい方を工夫できること。

(内容の取り扱い)

(2) 「C快適な衣服と住まい」の(2)のイについては、主として暑さ・寒さ、通風・換気及び採光を取り上げること。

本題材は、日常の住まい方に関心を持ち、季節の変化に合わせた住まい方や、家族の健康・安全を考えた住まい方を調べる活動を通して、気持ちのよい住まい方が分かり、自分なりに工夫できるようにするものである。我が国は四季の変化に富むことから、年間を通して快適な生活を送るためには、暑さ・寒さへの対処の仕方などを適切に工夫する必要がある。冷暖房機器にたよる生活を見直し、日光や風など自然の力を効果的に活用する方法について考え、健康や環境に配慮した視点から自然を生かした住まい方の大切さが分かるようにする。快適な住まい方について、豊かな発想を生かして考え、実践しようとする態度を育てることができる題材である。

- 本学級の児童は、家庭科の学習に意欲的に取り組む。1・2学期は、ごはんのみそ汁の調理実習や手縫いに真剣に取り組む、衣・食生活に関する基礎的・基本的な力を伸ばすことができた。夏休みの課題の「世界に一つの小物づくり」も全員がチャレンジし、家庭でも実践を楽しんでいる様子が伺える。しかし、本題材にかかわる実態調査において、「自然にやさしい住まい方をしていますか。」という質問に59%の児童が「している」と回答しているものの、「どんなこと？」と具体的な内容を問うと、「エアコンを使わないで服を着る」「ごみの分別をする」「水を大切に使う」「電気をこまめに消す」等の記述にとどまり、日常生活の中でもさまざまな工夫がなされていることに気付いている児童は少ないという実態がある。また、「住まい」の学習に対する興味・関心は、調理実習や手縫い・ミシンを使っての製作実習に比べて低く、住まい方の工夫についても、児童は日頃からあまり意識せずに生活していること等が分かった。
- 指導にあたっては、課題を解決するために、次のような視点から指導の工夫をしていきたい。

視点1 実践的・体験的な学習活動を取り入れる

ここでは、住まいに関心が薄いという児童の実態を踏まえ、児童が自分の生活に目を向け、よりよくしていこうという意欲をもてるようにしていきたい。そこで、視点を明確にして住まいを

調査・観察することや建築関連企業の方の話を聞くこと、児童が実際に体感できる簡単な実験を取り入れること等、課題を一人ひとりが把握して快適に住まう工夫を考えられるように実践的・体験的な学習活動を取り入れ、実感を伴って理解できるように展開を工夫する。

視点2 家族の一員として生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てる

実践的・体験的な学習活動を通して身に付けた力を家庭で生かせるように家庭実践カードを活用し、「あたたかさ・涼しさ・風通し・換気・明るさ」等の言葉が生活の中で生きた言葉となるようにする。家庭実践カードの中には、家族へのインタビューの内容や家族からの励ましの言葉が記入できるようにし、家族との交流が一層深められるよう工夫する。また、学習の過程で家族からのアドバイスを受けたり、友だちと共に調べ、情報交換する活動を取り入れたりとすることで、自分の課題をつかみ問題解決を進めていく実践力を身に付けられるようにしていく。さらに、「寒さ」を意識し始める初冬より「あたたかく明るい住まい方の工夫」について学習することで、より意識的に住まいを見つめ、自分の生活の中で学習したことを生かして、よりよい生活を工夫しようとする実践的な態度を育てていきたい。

6 題材の目標

- 日常の住まい方に関心を持ち、快適な住まい方を考える意欲をもつ。
- 快適に住まうために、計画を立て、自分なりに工夫して、生活に生かすことができるようにする。
- 季節の変化に合わせた快適な住まい方について課題を追究する。
- 快適に住むための工夫や方法が分かる。

7 題材の評価規準

家庭生活への 関心・意欲・態度	生活を 創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての 知識・理解
日常の住まい方に関心を持ち、自ら快適な住まい方をしようとしている。	快適に住まうために、自分なりに考えたり、工夫したりしている。	「暑さ・寒さ」「通風・換気」「採光」の観点から、身の回りを快適に整えるために調べたり、試したりしている。	住まいのはたらきや身近な住まいを、気持ちよく整える方法を理解している。

8 指導及び評価の計画（全7時間）

評価の観点 (方法) 学習内容(時数)	家庭生活への 関心・意欲・態度	生活を 創意工夫する能力	生活の技能	家庭生活についての知識・理解
快適な生活に必要な条件は？ ・住まいのはたらきについて話し合う。 ・冬の寒い日をイメージして快適な住まい方の工夫について話し合う。(1)	○学習の見通しをもって、快適な住まい方について話し合っている。 (発言・観察・ワークシート)			○住まいのはたらきを理解している。 (ワークシート)

<p>学校の光と風とあたたかさを調べよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校の快適空間調べをし、快適さを実感する。 調べたことをみんなに伝える。(2) 		<p>○快適な温度や明るさが分かり、学校の住まい方を考えたり、工夫したりしている。(発言・観察・ワークシート)</p>	<p>○学校の中のさまざまな場所のあたたかさ、風通し、明るさを調べたり、試したりしている。(観察・ワークシート)</p>	
<p>家庭実践1 「わが家の光と風とあたたかさ」を調べよう</p>				
<p>冬の快適生活プロジェクト 季節の変化に合わせた快適生活を考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 家を造っている企業の方に聞く。(1) (本時) 	<p>○快適な住まい方の工夫について、自分の家でチャレンジしようとしている。 (発言)</p>			<p>○環境により、季節に合わせた快適な住まい方が分かる。 (発言・観察・ワークシート)</p>
<p>家庭実践2 自分の家で改善したい課題の解決に向けて、調べたり試したりする。</p>				
<p>冬の快適生活プロジェクト 季節の変化に合わせた快適生活について調べたり、試したりしたことを報告しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 快適な住まいや住まい方についての工夫を、チャレンジしたことをもとに発表する。(1) 		<p>○住まいを快適にするための工夫を自分なりに考えている。 (発言・観察・ワークシート)</p>	<p>○快適な住まい方について、自分なりに実践している。 (発言・ワークシート)</p>	
<p>家庭実践3 友だちの発表を聞いて、さらに自分の家で改善できることを実践する。</p>				
<p>冬の快適生活プロジェクト 未来の快適な住まいの模型を制作しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> 将来住んでみたい快適な住まいについて考える。 グループで発表し合い、快適な住まいかを検討する。(2) 		<p>○将来住んでみたい快適な住まいについて考えたり、工夫したりしたことを基にグループで検討している。 (発言・観察・模型)</p>		<p>○あたたかさ、風通し、明るさなどの必要性が分かる。 (発言・観察・ワークシート)</p>

9 本時の目標

- 季節の変化に合わせて快適に住まうためのいろいろな工夫があることを、実践的・体験的な活動を通して理解し、生活の中で実践しようとする意欲をもつ。

10 学習の展開

学習活動	指導上の留意点	評価規準【評価方法】
1 本時の学習課題をつかむ。	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に調べた「明るさ・あたたかさ・風通し」が、実際に家造りをする中で大切な工夫となっているのかどうか、課題意識をもたせる。 	
<p>プロの家造りの技から、快適な住まい方のヒントをゲットしよう！</p>		
<p>2 ゲストティーチャーのお話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○夏は涼しく冬は暖かい家造り ○室内の空気の流れ ○地域の特徴に合わせた家造り ○自然の恵みの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の風土（季節）に合わせて快適な住まい方ができるよう工夫していることが話の中心になるよう、事前によく打ち合わせをしておく。 	
<p>3 体感コーナーで各自が体験する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○『さわって感じてはかってみよう』（素材の違いによって異なる体感温度） ○すだれ実験（植物の蒸散効果） ○反射シート・遮光カーテン ○風（空気）の流れ実験 ○エアシートの活用 ○ブラインドによる採光 	<ul style="list-style-type: none"> ・気づきをワークシートに記入させる。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>木と石、発泡スチロール、表面の温度はどれが高いのかな？</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>夏は、緑のカーテンをつくろうよ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>窓の付け方にも工夫があるね！</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○環境によい、季節に合わせた快適な住まい方が分かる。 <p>（知識・理解）【発言・観察・ワークシート】</p>
<p>4 プロの技を生かして、自分にもできる自分の家の課題の解決に向けて交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学んだことを生かして、自分の家でチャレンジする課題をつかませるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○快適な住まい方の工夫について、自分の家でチャレンジしようとしている。
<p>5 次時の学習内容を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の家で調べたり、試したりしたことを発表することを知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> （関心・意欲・態度）【発言】